

絵付け体験に行ってみよう!

中野市観光会館
日本土人形美術館

市内在住の大須賀由美さん・
瞭太くん親子に土人形絵付け
体験をしていただきました。



土人形を選ぶところからスタートです。



瞭太くんは「招き猫」、由美さんは「春駒」を選びました。



職員から絵付けの説明を聞きます。



由美さんは見本を見ながら、瞭太くんは悩みながら絵付けスタートです。



瞭太くんは完成形がイメージできたようです。どんな招き猫ができるかな。



いよいよラストスパート！2人とも絵付けに集中しています。



由美さんは人形の顔を描き始めました。緊張の瞬間です。



オリジナルの土人形が完成しました。出来栄はいかがですか？

絵付け体験の感想を伺いました



想像していたよりも難しかったですが、楽しく絵付けができました。特に目を描くのが大変でした。また挑戦してみたいです。



心を静め、素朴な土人形に鮮やかな色で描いていく作業に癒されました。日々慌しくされている方にこそお勧めしたいですね。

絵付け指導員 直子さんの



土人形 絵付けアドバイス



目を描く時は、利き手と反対の目から。筆を持つ手の小指を支えにするのがコツです。
へえー ナルホド!



人形を逆さにしたり回したりしながら描くのも上手に描くポイントです。
フムフム



線は横に引くより縦に引く方が簡単です。上塗りすれば消えるので恐れず大胆に!
思い切りが大事なんだ



桜はハートマークを5つ、梅は丸を6つ描くだけ。梅の丸は大きさを変えるのがポイントです。
かわいい! やってみよう



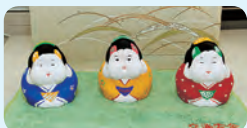
筆が割れたら水を付けるか、絵の具を付けて新聞紙などで筆を回しながら引いて整えます。
うまくできそうだ!!



創作土人形で願いを届けます

交通安全の願いを込めて

中高交通安全協会は、平成22年から創作土人形「お福さん」を活用した啓発活動を行っています。秋の交通安全運動期間中には、交通安全の願いを込めて、中高安全協会女性部の皆さんが絵付けをしたお福さん約50体を、高齢者対象の街頭指導の際に配布しました。お福さんは、表情が豊かでかわいらしく、啓発キャラクターにはもってこいのこと。お福さんは今日も皆さんの交通安全を願っています。



震災復興の願いを込めて

中野小学校6年1組は、来年の干支にちなんで馬の創作土人形に絵付けをし、東日本大震災で被災した宮城県仙台市立中野小学校の児童へ手紙を添えて送ります。この取り組みは、昨年引き続き行われるもので、被災地にも同じ「中野小学校」があることを知った同クラスが、被災した児童を励まそうと始めたものです。土人形には、児童たちの幸せを願う気持ちが込められています。



..... 絵付け体験が楽しめる施設



まちなか交流の家

住 中野市中央四丁目2番33号
☎ (23) 2077
営 午前9時～午後5時
休 水曜日・年末年始
料 無料 (体験料は別途)



信州中野観光センター

住 中野市大字草間1539番地1
☎ (23) 5581
営 午前9時～午後6時
休 無休
料 無料 (体験料は別途)



日本土人形資料館

住 中野市大字中野1150番地
☎ (26) 0730
営 午前10時～午後4時
(3月～11月は 午前9時～午後5時)
休 木曜日・年末年始
料 一般200円、高校生100円(20人以上の団体は割引あり) (体験料は別途)